

かけはし

第56号

令和6年度予算特集



三重県農林水産部長へ提案・要望事項を提出（左上）、先進地(岐阜県飛騨市)視察調査（右上）
みえ森林経営管理支援センター研修（左下）、令和5年度治山工事コンクール林野庁長官賞受賞（大台町余谷（右下））

目次

○ご挨拶.....	2
○令和6年度三重県予算及び森林・林業・木材産業関係予算の概要.....	3
○令和6年度林野庁予算の概要.....	8
○令和6年度森林・林業関係予算等に関する提案・要望活動.....	10
○三重県森林協会活動報告（令和5年4月～令和6年3月）.....	12
○みえ森林経営管理支援センター活動報告.....	13
○令和4年度森林環境譲与税使途区分別・市町別の額一覧.....	14
○受賞者の紹介.....	15
○当面の森林協会活動予定.....	16
○お知らせ.....	16

豊かで災害に強い森林づくりを推進しよう！

一般社団法人 三重県森林協会

ご 挨拶

一般社団法人三重県森林協会

会 長 河 上 敢 二

会員の皆様方におかれては、平素から当協会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。当協会の会報「かけはし」第56号の発刊にあたり、ご挨拶申し上げます。

今年は、新年早々に能登半島地震が発生し甚大な被害が生じました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。我々も今後発生が予想される南海トラフ大地震に対して不断の備えに取り組まなければなりません。

昨年度は、当協会からも強く要望していたみえ森と緑の県民税制度の継続が決まり、引き続き「災害に強い森林づくり」が推進されることとなりました。線状降水帯等による豪雨災害が頻発するなか、県民税を財源として流木となるおそれのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出やライフラインを守る事前伐採等の森林整備が県内各地で取り組まれることは喜ばしい限りです。

また、国においては、「防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策」による令和5年度補正予算も含め林野公共予算額は、全国団体と連携した要望活動もあり目標額（2,600億円）を上回る2,680億円が確保されました。幸い三重県においては、近年大きな山地災害が発生していませんが、山地災害危険箇所は数多くあり治山事業による整備が着実に進むことが期待されます。

令和6年度からは森林環境税の徴収が始まります。昨年度の税制改正において森林整備を一層推進する観点から森林環境譲与税の譲与基準が見直され私有林人工林面積比率が高まったこと等により、三重県では市町、県ともこれまでの想定を上回る税が譲与されることになります。この税財源を有効に使って地域の森林整備、林業振興、木材利用を推進することにより、国民の負託に応える必要があります。当協会としても県から受託したみえ森林経営管理支援センター業務を中心に各市町の施策が円滑に進むようサポートしてまいります。

今年度も国に対しては中央団体、県に対しては県内関係団体と連携し提案・要望活動を行うなど、本県の森林整備、治山・林道事業の推進、林業・木材産業の活性化に向けた取組を進めますので、引き続きご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度三重県予算及び森林・林業・木材産業関係予算の概要

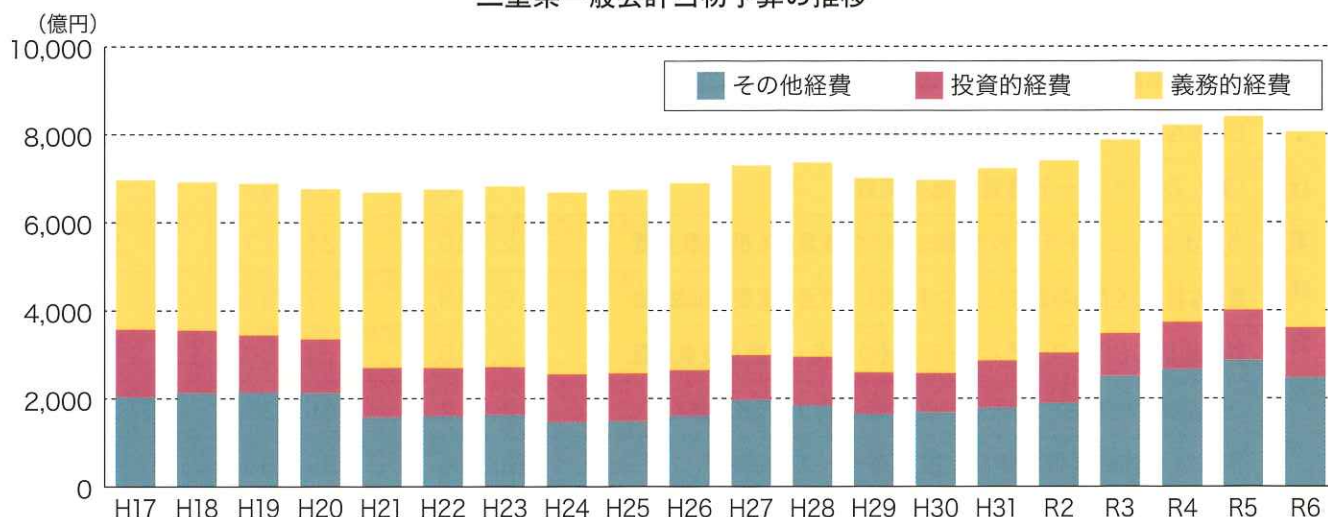
●令和6年度一般会計当初予算総額は8,051億円。新型コロナ対策費を除いては過去最大。(対前年度比309億円、4.0%の増)

県の当初予算のポイントとしては、「こども」「人材」「いのち」への予算を大胆に重点化しています。

- ・昨年度策定した「みえ子どもまると支援パッケージ」をさらに充実し、ジェンダーギャップの解消に向けた取組を新たに組み合わせることで、次の時代を担う子ども達への切れ目ない包括的な支援を強化(予算額：165億円(対前年度比11%増))
- ・新たに策定した「人材確保対策プラン」に基づき各業種での人材確保の支援、多様な人材の就労支援、生産性向上に向けたリスクリングの促進などにより産業界最大の課題に対し全庁を挙げて的確に対応(予算額：42億円(対前年度比22%増))
- ・避難所への空調設備設置など避難所の環境改善や三重県防災アプリの開発などソフト対策を強化しつつ、ソフト・ハードの両面から防災・減災、県土の強靱化の取組を推進(予算額：1,960億円(対前年度比4%増))

これらの取組に加え、熊野古道世界遺産登録20周年にあわせた観光・プロモーションや産業振興、地域公共交通の活性化などに取り組みつつ、三重県人口減少対策方針に基づき移住や人口の還流を促進することとしています。

三重県一般会計当初予算の推移



●森林・林業・木材産業関係予算（一般会計）は、1.5%減の92.7億円

令和6年度三重県の森林・林業関係当初予算は、一般会計で92億7,169万円（特別会計を除く）と対前年度比98.5%の減額予算となりました。

予算は、カーボンニュートラルを見据えた「森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現」するため、ICT等の技術を活用したスマート林業の現場実装の加速化、造林未済地の早期回復に向けた支援、J-クレジットの活用促進、次代を担う林業人材の確保・育成に取り組むとともに、「三重の森づくり運動」を展開し、みんなで支える森林づくりを進めます。

また、「農山漁村地域の防災・減災対策の強化」として、山地災害の防止を図る治山施設を整備するとともに公益的機能が低下した保安林の整備を進めます。また、流木となる恐れのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出に取り組むとともに、シカの食害や気象害を受けた森林の早期回復に向けた植栽などを支援します。

令和6年度森林・林業・木材産業関係当初予算 9,135,206千円（※特別会計を除く）

- 森林・林業経営課 ……1,679,126千円（森林計画、林業・木材産業振興、造林・間伐、森林教育、みえ森林・林業アカデミー、林業試験研究等）
- 治山林道課 ……5,606,963千円（治山、林道、災害に強い森林づくり、林地開発等）
- みどり共生推進課 ……1,849,117千円（みえ森と緑の県民税、自然公園、野生生物保護等）

令和6年度 三重県森林・林業・木材産業関係予算一覧

(単位：千円、%)

区分	事業名	令和5年度 当初予算A	令和6年度 当初予算B	対前年度比 B/A
森林・ 林業 経営 課	「もっと県産材を使おう」推進事業費（譲与税関連）	33,159	27,048	81.6%
	森林経営計画作成推進事業費	9,888	11,794	119.3%
	林業・木材産業構造改革事業費	282,969	290,817	102.8%
	普及指導活動事業費	6,254	6,254	100.0%
	地域森林計画編成事業費	4,789	5,008	104.6%
	森林整備加速化・林業再生基金事業費	100,000	101,205	101.2%
	森林整備加速化・林業再生基金積立金	100,000	100,000	100.0%
	林業資金貸付事業特別会計繰出金	610	601	98.5%
	森林育成促進資金貸付金事業費	95,106	95,134	100.0%
	林業担い手総合対策事業費（譲与税関連）	8,658	10,757	124.2%
	中国等アジア圏に向けた県産材輸出促進事業費	478	0	皆減
	森林環境譲与税基金積立金（譲与税関連）	142,716	142,716	100.0%
	LPWAN等を活用したスマート林業推進事業費	7,810	0	皆減
	（新）みえスマート林業躍進事業費	0	5,549	皆増
	カーボンニュートラルの実現に向けた林業GX推進事業費	22,700	21,917	96.6%
	豊かな暮らしを創る身近な「三重の木づかい」推進事業費（県民税関連）	6,588	7,593	115.3%
	林福連携におけるコーディネート人材の育成・活動支援事業費	1,600	3,000	187.5%
	みえ森林・林業アカデミー運営事業費（譲与税関連）	45,012	46,420	103.1%
	新たな森林経営管理体制支援事業費（譲与税関連）	53,510	51,186	95.7%
	森を育む人づくりサポート体制整備事業費（県民税関連）	77,041	59,958	77.8%
	森林情報基盤整備事業費（県民税関連）	160,118	129,075	80.6%
	（新）災害に強い森林再生事業費（県民税関連）	0	75,447	皆増
	林業試験研究管理費	70,204	32,712	46.6%
	林業技術開発管理費	6,688	6,213	92.9%
	（公共）造林事業費	391,224	391,224	100.0%
	（県単公共）県単森林環境創造事業費	25,473	26,132	102.6%
	（県単公共）県単造林事業費	31,366	31,366	100.0%
	小計	1,683,961	1,679,126	99.7%
治山 林道 課	県行造林事業費	55,317	55,043	99.5%
	保安林整備管理事業費	8,499	12,686	149.3%
	森林保全管理事業費	692	928	134.1%
	森林病虫害防除費	231	307	132.9%

区分	事業名	令和5年度 当初予算A	令和6年度 当初予算B	対前年度比 B/A
治山 林道課	(公共) 林道事業費	841,700	842,479	100.1%
	(公共) 治山事業費	1,531,565	1,531,565	100.0%
	(県単公共) 県単林道事業費	25,430	4,455	17.5%
	(県単公共) 県単治山事業費	2,004,630	1,996,980	99.6%
	(公共) 林道施設災害復旧事業費	680,850	680,850	100.0%
	(公共) 治山施設災害復旧事業費	102,746	102,746	100.0%
	県営受託治山事業費	100,000	30,000	30.0%
	災害に強い森林づくり推進事業費(県民税関連)	359,960	348,924	96.9%
	小計	5,711,620	5,606,963	98.2%
みどり 共生 推進課	野生生物保護事業費(県民税関連)	17,284	20,622	119.3%
	自然環境保全対策事業費	45	0	皆減
	自然公園利用促進事業費(県民税関連)	49,827	49,037	98.4%
	(一部新) みんなで取り組む三重の森づくり推進事業費(県民税関連)	181	11,000	6077.3%
	森林公園利用促進事業費	51,770	51,781	100.0%
	みえ森と緑の県民税基金積立金(県民税関連)	1,137,761	1,117,512	98.2%
	みえ森と緑の県民税市町交付金事業費(県民税関連)	590,452	548,623	92.9%
	みえ森と緑の県民税制度運営事業費(県民税関連)	13,000	13,000	100.0%
	自然に親しむ施設整備事業費	15,787	37,542	237.8%
	小計	1,876,107	1,849,117	98.6%
	計(一般会計)	9,271,688	9,135,206	98.5%
特会	木材産業等高度化推進資金貸付事業費 など 小計	526,318	576,076	109.5%
	合 計	9,798,006	9,711,282	99.1%

(注) 特会：特別会計予算、県民税関連：みえ森と緑の県民税を財源に含む、譲与税関連：森林環境譲与税を財源に含む

新規事業等紹介

1 (新) みえスマート林業躍進事業 5,549千円【森林・林業経営課】

スマート林業の現場実装をより一層加速化するため、各地域の林業事業体においてICT技術の精通者となるコア技能者を育成し、ICT先端技術を活用した省力化、生産性、安全性及び快適性の向上を図り、限られた労働力を最大限生かしたスマート林業を実現します。

2 (新) 災害に強い森林再生事業 75,447千円【森林・林業経営課】

造林未済地やシカの食害・気象害等による被害森林が県内で約300ha以上存在しており、森林の有する土砂流出防止等の公益的機能の低下が懸念されることから、造林未済地等の成林に向けた取組(獣害防止施設の設置等)を支援することで、災害に強い森林づくりの観点で公益的機能の早期回復を目指します。

3 (一部新) みんなで取り組む三重の森づくり推進事業 11,000千円【みどり共生推進課】

「三重の森づくりネットワーク」を構築し、県民、企業による森づくり活動の促進や県民が森林を身近なものとして感じ学べる場となる「森林フェスタ」の開催を通じて県民の森林を育む意識を醸成し、令和13年度全国植樹祭の招致につなげます。

森林・林業・木材産業によるグリーン成長の実現

カーボンニュートラルを見据えた、森林・林業・木材産業によるグリーン成長を実現するため、ICT等の技術を活用したスマート林業の現場実装の加速化、造林未済地の早期回復に向けた支援、Jークレジットの活用促進、次代を担う林業人材の確保・育成に取り組むとともに、「三重の森づくり運動」を展開し、みんなで支える森林づくりを進めます。

森林・林業経営課 TEL059-224-2564
治山林道課 TEL059-224-2573
みどり共生推進課 TEL059-224-2513

森林の適正な管理と公益的な機能の発揮

新たな森林経営管理体制支援事業 (51,186千円)

森林環境譲与税等を活用した森林整備の促進に向けて、市町の業務推進への支援や、花粉の少ないスギ・ヒノキの種子の生産体制強化などに取り組めます。



市町職員向け現地研修

造林事業 (422,590千円)

森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため、搬出間伐や主伐後の再造林などの森林整備、獣害防止施設、森林作業道の整備を支援します。



森林作業道整備
に対する支援

カーボンニュートラルの実現に向けた林業GX推進事業 (21,917千円)

Jークレジットの活用推進に向けた森林情報基盤の整備や県行造林における効率的な認証取得の実証、効果的なJークレジット販売手法の検証などに取り組めます。

災害に強い森林づくり事業 (348,924千円)

(新)災害に強い森林再生事業 (75,447千円)
流木となるおそれのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出に取り組むとともに、シカの食害や気象害を受けた森林の早期回復に向けた植栽などを支援します。

林業の生産性の向上と県産材の利用の促進

林道事業 (899,934千円)

※12月補正含み
木材の生産・搬出に必要な林道および災害時に市町道等の代替路となる林道を整備するとともに、既設林道の改良に取り組めます。



基幹となる林道の開設

(新)みえスマート林業躍進事業

スマート林業の現場実装を加速化するため、先進的な役割を果たす技能者を育成するとともに、スマート技術の横展開に取り組めます。



スマート技術の活用による
生産性・安全性の向上

「もっと県産材を使おう」推進事業 (27,048千円)

県産材の利用拡大に向けて、大都市圏でのPR活動のほか、木造非住宅建築物の設計支援、県産材を活用した建築物コンクリールの開催などに取り組めます。



木材関係展示会への
出展

林業・木材産業を担う人材の育成

林業担い手総合対策事業 (10,757千円)

林業への新規就業者を確保するため、大都市圏での就業相談会の開催や、就業希望者と林業事業者のマッチング支援などに取り組めます。



首都圏での就業相談会



就業希望者の
林業現場体験

みえ森林・林業アカデミー運営事業 (46,420千円)

既就業者を対象とした基本コースや市町職員向け講座のほか、専門的な知識や技術を学べる選択講座を運営し、次代を担う林業人材を育成します。



伐倒技術研修



みえ森林・林業アカデミー
での座学

みんなで支える森林づくりの推進

みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (548,623千円)
「みえ森と緑の県民税」を活用し、市町が創意工夫した森林づくりの施策を展開するとともに、県と市町が連携して、流域の防災機能を強化する面的な森林整備や、ライフライン沿いの危険木の事前伐採に取り組めます。



流域の防災機能を強化
する森林整備

(一部新)みんなで取り組む三重の森づくり推進事業

(11,000千円)

企業による森づくり活動を促進するとともに、森林フェスタの開催を通じて、県民の森林を育む意識を醸成し、令和13年度全国植樹祭の招致につなげます。



森林フェスタの開催

●森林・林業関係公共事業当初予算（12月補正含む）は、
対前年度比 1.5%減の51.1億円

森林・林業関係公共事業の令和6年度当初予算は48億5,420万円で対前年度比98.0%となりました。令和5年度12月補正予算を合わせた比較では対前年度比98.5%の51億620万円となっています。

令和6年度当初予算では、治山事業は国補事業が15億3,157万円で対前年度と同額、県単治山事業は19億9,698万円で対前年度比99.6%、林道事業は国補事業が8億4,248万円で対前年度比100.1%、県単事業が446万円で対前年度比17.5%、森林整備事業は国補事業が3億9,122万円で対前年度比100.0%、県単事業が5,744万円で対前年度比101.2%となっています。国補治山事業、国補造林事業においては2年続けて前年度と同額の当初予算額となっています。

また令和5年度12月補正予算においては、国補治山事業で1億9,900万円、国補林道事業で5,300万円が措置されています。

令和6年度 森林・林業関係公共事業、施設災害復旧費予算一覧

(単位：千円、%)

区 分		令和5年度		令和6年度		当初対比 C/A	補正含対比 D/B
		当初予算 A	令和4年度2月 補正予算含む B	当初予算 C	令和5年度12月 補正予算含む D		
治 山	治山事業費	1,531,565	1,688,565	1,531,565	1,730,565	100.0%	102.5%
	県単治山事業費	2,004,630	2,004,630	1,996,980	1,996,980	99.6%	99.6%
	治山 計	3,536,195	3,693,195	3,528,545	3,727,545	99.8%	100.9%
林 道	林道事業費	841,700	915,500	842,479	895,479	100.1%	97.8%
	県単林道事業費	25,430	25,430	4,455	4,455	17.5%	17.5%
	林道 計	867,130	940,930	846,934	899,934	97.7%	95.6%
森 林 整 備	造林事業費等（国補）	391,224	391,224	391,224	391,224	100.0%	100.0%
	県単造林事業費等	56,839	56,839	57,498	57,498	101.2%	101.2%
	森林整備 計	448,063	448,063	448,722	448,722	100.1%	100.1%
公共事業 計		4,851,388	5,082,188	4,824,201	5,076,201	99.4%	99.9%
治 山	県営受託治山事業費	100,000	100,000	30,000	30,000	30.0%	30.0%
受託公共事業 計		100,000	100,000	30,000	30,000	30.0%	30.0%
治 山	治山施設災害復旧事業費	102,746	102,746	102,746	102,746	100.0%	100.0%
林 道	林道施設災害復旧事業費	680,850	680,850	680,850	680,850	100.0%	100.0%
災害復旧事業費 計		783,596	783,596	783,596	783,596	100.0%	100.0%
公共事業 合計		5,734,984	5,965,784	5,637,797	5,889,797	98.3%	98.7%

令和6年度 林野庁予算（林野公共事業）の概要

●令和6年度国家予算の方針

令和6年度予算は、歴史的な転換点の中、時代の変化に応じた先送りできない課題に挑戦し、変化の流れを掴み取るための予算としています。具体的には、医療・福祉分野の現場で働く方々の処遇改善をはじめとした「物価に負けない賃上げの実現」に向けた取組の推進、「こども未来戦略」に基づく「加速化プラン」の迅速な実施、我が国周辺の厳しい安全保障環境を踏まえた防衛力の着実な強化など、我が国が直面する構造的な課題に的確に対応するものとしています。また、物価と賃金の好循環に向け、賃上げ促進の環境整備を含め、物価高対策に必要となる経費に予期せぬ不足が生じた際に機動的に対応するため、万全の備えとして、原油価格・物価高騰対策及び賃上げ促進環境整備対応予備費を一兆円措置しています。加えて、令和6年能登半島地震への対応として、令和6年度においても復旧・復興の段階などに応じた切れ目のない機動的な対応を確保するため、一般予備費について、前年度当初予算に対し、5千億円増額し、1兆円措置しています。

●林野庁予算の内容

令和6年度の林野庁予算の総額は、令和5年度補正予算の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等を加えると4,403億円（対前年比：104.4%）となりました。当初予算ベースでは、3,003億円で前年に比べ44億円の減、補正予算額は1,401億円で前年に比べ239億円の増となりました。

また、公共事業費は、補正予算を加えると3,059億円（対前年比105.0%）、非公共事業は1,344億円（対前年比103.1%）となりました。

当初予算では、カーボンニュートラル実現に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長を重点事項とし、補正予算においては防災・減災、国土強靱化と災害復旧等を推進します。

令和2年度～令和6年度 林野関係予算の推移

（単位：億円）

	R2 予算	R3 予算	R4 予算	R5 予算	R6 予算	R6/R5
公共事業計	2,905	3,313	2,991	2,914	3,059	105.0%
一般公共	2,588	2,825	2,636	2,570	2,622	102.0%
治 山	988	1,080	926	879	892	101.5%
森林整備	1,600	1,744	1,709	1,691	1,731	102.4%
災害復旧	316	489	356	344	437	127.0%
非公共事業計	1,283	1,275	1,236	1,304	1,344	103.1%
林野庁合計	4,187	4,588	4,227	4,218	4,403	104.4%

注) 1 予算額は当該年度の当初予算と前年度補正予算の合計額を記載。

2 路網整備等対策（非公共）60億円を含めると林野公共関係予算は2,682億円。

3 上記のほか農山漁村地域整備交付金に林野関係事業が措置。

4 計数は、四捨五入のため合計と一致しない場合があります。

令和6年度林野関係予算の重点事項（公共事業以外）

○ カーボンニュートラル実現に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長

① 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策

【当初：144億円】

カーボンニュートラル等を実現し、花粉発生量の削減にも資するよう、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進。

ア 林業・木材産業循環成長対策

【当初：64億円】

国産材供給体制の強化と森林資源の循環利用の確立に向け、路網の整備・機能強化、高性能林業機械の導入、搬出間伐の実施、再造林の低コスト化、エリートツリーの安定供給とともに、木材加工流通施設の整備、特用林産振興施設の整備等の推進に向けた取組を支援。

イ 林業デジタル・イノベーション総合対策

【当初：4億円】

ウ 建築用木材供給・利用強化対策

【当初：10億円】

エ 木材需要の創出・輸出力強化対策

【当初：3億円】

オ 森林・林業担い手育成総合対策

【当初：47億円】

カ「新しい林業」に向けた林業経営育成対策

【当初：2億円】

キ 林業・木材産業金融対策

【当初：4億円】

ク 森林・山村地域振興対策

【当初：10億円】

② 花粉症解決に向けた緊急総合対策＜一部公共＞

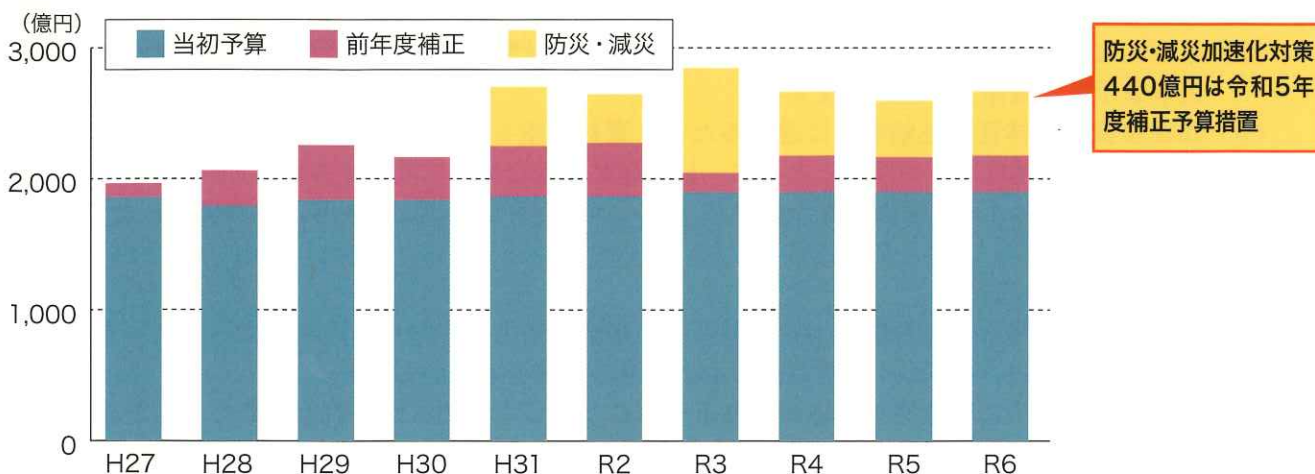
【補正：60億円（林業・木材産業国際競争力強化総合対策）458億円の内数】

10年後に花粉発生源となるスギ人工林を2割減少させることを目指し、花粉が多いシーズンでも現在の平年並みの花粉量までとなるよう、花粉症対策初期集中対応パッケージに掲げられた、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、スギ花粉飛散量の予測・スギ花粉の飛散防止の取組を推進。

● 林野公共事業予算

林野一般公共事業予算（治山事業、森林整備費）については、当初予算の経常分が1,877億円（治山624億円、森林整備1,254億円、災害復旧を除く、対前年比100.1%）、令和5年度補正予算が防災・減災、国土強靱化に係る加速化対策を含め745億円（治山268億円、森林整備477億円）が計上されました。その結果、当初及び補正予算を合わせた一般公共事業費は2,622億円（対前年比102.0%）となりました。これに路網の整備・機能強化対策（非公共）60億円を加えると2,682億円となり林野庁が目標としていた2,600億円を超え2,700億円に迫る規模となっています。

林野公共事業（森林整備事業・治山事業）の予算推移



令和6年度森林・林業関係予算等に関する提案・要望活動

●「令和6年度県予算編成等に向けた森林・林業政策提案・要望書」の提出

令和6年度の県予算編成に向けて、森林・林業政策の提案・要望事項を会員である各市町から提出していただき、提案・要望事項について議論を深めるため、令和5年9月7日に県の担当班長と市町の担当者による意見交換会を開催しました。

令和5年11月2日には、意見交換会の議論を踏まえた「令和6年度県予算編成等に向けた森林・林業政策提案要望書」を河上会長と尾上副会長から三重県農林水産部中野部長へ提出し、提案・要望活動を行いました。



河上会長から中野部長へ要望書手交



市町職員と県職員の意見交換会

主な提案・要望事項

1 みえ森と緑の県民税に関すること

- (1) 令和6年度以降も「災害に強い森林づくり」及び「県民全体で森林を支える社会づくり」の基本方針のもと県民税制度を継続するようお願いします。
- (2) 森林環境譲与税との区分を分かり易くし、県民・国民の理解を得つつ両税とも有効に活用できるよう制度設計をお願いします。

2 森林整備及び路網整備に関すること

- (1) 国や県においてはスギ花粉の発生源対策や森林資源の循環利用を進めるため「主伐―再造林」を促進しようとしています。再造林を着実に進めるには造林事業（国補）の予算が必要不可欠となりますので、国及び県の造林事業予算の確保をお願いします。
- (2) 計画的な森林整備や木材生産を推進するため林道の役割は非常に重要なので、引き続き、林道事業予算の確保をお願いします。
- (3) 森林整備や森林管理を効率的に進めるため、森林航空レーザ計測の成果を生かして森林簿・森林計画図の精度向上を図るとともに、施業履歴や保安林の位置情報等をWEBにより提供するようにお願いします。また、県全体の航空レーザ計測を早期に完了するようにお願いします。

3 治山事業に関すること

- (1) 全国的に線状降水帯や台風による豪雨災害が頻繁に発生しており、地域住民の安全・安心の確保と災害に強い森林づくりを目指し治山事業の推進をお願いします。
- (2) 山地災害発生時に緊急的な対応が必要となることが多いので、県単治山等緊急対応予算の充実にお願いします。

4 木材利用の推進に関すること

- (1) 「三重の木づかい条例」に基づき、公共及び民間の建築物や建築物以外の分野における木材利用、木材の付加価値を高める研究等、木材利用の推進を図るため必要な施策の着実な実施をお願いします。
- (2) 県産材の需要開拓のため、県内木材団体と連携し、森林環境譲与税を活用する県外大都市部の木材需要をターゲットとした施策の展開をお願いします。

5 人材の育成・確保等に関すること

- (1) 市町では人事異動により森林・林業行政分野に関する初任者比率が高いため、森林・林業アカデミーの市町講座においては、初任者向けには可能な限り早い時期に、かつリモート参加も可能とし学びやすい内容となるようお願いします。
- (2) 森林経営管理制度等市町による森林整備を進めるためには、森林境界の明確化を進める人材並びに間伐等現場の作業を担う人材が不足しているため、これら人材の育成・確保に向けた取組をお願いします。

6 森林環境譲与税、森林経営管理法に関すること

- (1) 市町の森林・林業行政の体制は、担当人員が少なく依然十分でないところがあるので、三重県が市町の森林環境譲与税を用いた事業や森林経営管理制度の取組を支援するため当協会に委託し設置している「みえ森林経営管理支援センター」制度を継続するようお願いします。
- (2) 令和6年度から森林環境税の徴収が開始されますので、森林環境譲与税を活用した取組が国民に幅広く情報発信できるようご支援をお願いします。

●自由民主党三重県支部連合会の「令和6年度国・県の政策・予算に関する要望聴き取り会」において要望

令和5年8月21日に開催された自由民主党三重県支部連合会の要望聴き取り会において、令和6年度国・県の政策・予算に関する事項として、①みえ森と緑の県民税制度の継続、②森林環境税・森林環境譲与税及び造林事業、③国土強靱化に向けた森林整備・治山対策に関することを要望しました。



●三重県選出国會議員へ令和6年度当初予算等にかかる要望書を提出し要望



近畿7府県から提出され近畿治山林道協会連絡協議会令和5年度総会で決議した治山・林道事業関係の提案・要望書、令和6年度当初予算及び令和5年度補正予算について全国治山林道協会会長会議により決議した要望書、「2023 治山・林道のつどい」で決議した林野公共事業予算の拡充に関する決議書を令和5年11月22日に前田専務理事から三重県選出（比例区含む）国会議員（9名）に提出し要望活動を行いました。

三重県森林協会の主な活動報告（要望活動以外）（令和5年4月～令和6年3月）

●森林セミナー開催

令和5年4月17日、津市において「森林セミナー」を開催しました。会員市町、林業団体等から52名の参加があり、県の宮崎次長ほか3課長から令和5年度の森林・林業施策や予算、主要事業等について説明していただきました。その後、「森林環境譲与税及び森林経営管理制度」、「みえ森と緑の県民税」、「スマート林業の推進」、「木材利用推進」、「林地開発」等について担当班長から説明していただき、事業に関する質疑応答を行いました。



●三重県幹部との意見交換会開催



令和5年7月4日に「三重県農林水産部幹部職員と森林協会役員との意見交換会」を津市で開催しました。

県幹部から「令和5年度森林・林業施策」ほか森林・林業分野にかかる幅広い情報提供をしていただき、その後、当協会役員からは地域の実情を説明し、意見交換を行いました。

●森林づくり講演会2023の開催

令和5年8月23日、津市において株式会社中川の創業者兼従業員、中川雅也氏を講師に迎え「木を伐らない」林業～林業を自由に、面白く～をテーマとする森林づくり講演会2023を開催しました。

88名の参加者が、中川氏の新しい会社を興し仲間を集め育林を主体として業績を伸ばしながら様々な森林関連ビジネスに挑戦しているお話を伺いました。



●県外先進地研修会の開催



令和5年11月6日から7日にかけて岐阜県飛騨市及び飛騨産業（株）（高山市）を訪問する先進地研修会を23名の参加により開催しました。

飛騨市では同市が取組む広葉樹のまちづくりの説明を受けた後、連携する原木流通、加工、販路開拓拠点を視察しました。飛騨産業（株）では同社の人材育成施設や家具づくりの様々な工程を抱える工場を見学しました。

みえ森林経営管理支援センター活動報告（令和5年4月～令和6年3月）

みえ森林経営管理支援センターでは、センター長及び5名のアドバイザーを県農林（水産）事務所に駐在配置し、市町の取り組みを支援しています。（令和6年度の体制は16頁を参照。）

1 森林経営管理制度等、森林環境譲与税の取組

県内市町における森林経営管理制度等の取組及び森林環境譲与税の活用状況については、以下の表のように推移しています。

表1 森林経営管理制度等の取組について（単位：ha）

区 分	R1～R4年度	R5年度※
意向調査	42,716	6,265
境界の明確化	4,046	1,684
集積計画	690	700
市町森林経営管理事業	405	506
三者協定による森林整備等	1,390	705

表2 森林環境譲与税の活用について（単位：百万円）

区 分	R1～R4年度	R5年度※	計
森林環境譲与税額	3,054	1,046	4,100
活用額	1,976	1,274	3,249
積立金額	1,079	▲228	851
積立率	35.3%	▲21.8%	20.7%

※R5年度は計画

2 森林経営管理制度等、森林環境譲与税の課題と支援内容について

市町における人材面、技術面、計画面の課題に対して、支援センターのアドバイザーが、市町の森林経営管理制度の取組状況や譲与税の活用状況に応じて以下のようなアドバイスを実施しています。

区分	課 題	アドバイス内容
人材面	・市町林業職員の不足について	・地域林政アドバイザーとの委託契約 ・市町の取組状況や活用状況に応じた研修会の開催
	・市町林業職員の異動について	・引継書の作成促進
技術面	・どのように森林経営管理制度を進めるかわからない	・積算方法、契約方法の考え方の整理 ・効率的な意向調査手法 ・所有者不明森林等における特例措置の活用
	・境界明確化が遅れている	・意向調査とともに実際に山に入り境界を探索する手法 ・レーザ航測を活用し境界推測図を作成する手法
	・譲与税の活用方法がわからない	・森林整備において市町営から補助制度の導入 ・関係者で構成する協議会により検討する方法
計画面	・森林経営管理制度における取組の遅れ	・森林経営管理制度における取組方針の作成及び見直し
	・譲与税における活用の遅れ	・譲与税における活用方針の作成及び見直し

●市町職員研修会の開催

令和5年7月28日及び令和6年2月28日に森林経営管理制度及び森林環境譲与税の活用を計画的に進めるため市町職員対象の研修会を開催しました。県や支援センターからの情報提供や事例報告の後、7月の研修会では松阪市の森林境界明確化や森林整備をした現地を視察、2月の研修会では中勢森林組合 赤野氏、朝日航洋株式会社 和田氏から「森林境界明確化」をテーマとする講演をしていただきました。



令和4年度森林環境譲与税使途区分別・市町別の額一覧

(単位：千円、％)

管 内	市町名	森林環境 譲与税額	使 途（関連事業を含む）				
			森林整備	木材利用	人材育成	普及啓発	基金積立
四 日 市	四 日 市 市	36,274	7,289	6,603	0	0	22,382
	桑 名 市	18,952	15,873	0	0	0	3,079
	鈴 鹿 市	26,536	8,180	4,466	0	0	13,890
	亀 山 市	37,638	24,196	0	2,469	0	10,973
	いなべ市	18,732	10,365	4,345	0	0	4,022
	木曽岬町	630	0	0	0	0	630
	東 員 町	3,238	0	0	0	0	3,238
	菰 野 町	11,648	7,730	0	0	0	3,918
	朝 日 町	1,202	0	0	0	0	1,202
	川 越 町	1,580	0	0	0	0	1,580
津	津 市	141,190	133,801	1,200	4,018	0	2,171
松 阪	松 阪 市	132,038	95,346	44,513	0	0	▲ 7,821
	多 気 町	9,918	6,542	0	0	0	3,376
	明 和 町	3,104	2,104	0	0	0	1,000
	大 台 町	84,398	63,913	1,681	382	0	18,422
伊 勢	伊 勢 市	34,744	5,706	0	0	0	29,038
	鳥 羽 市	7,274	4,328	0	2,807	0	139
	志 摩 市	10,798	6,339	0	583	0	3,876
	玉 城 町	5,112	1,999	0	0	0	3,113
	南伊勢町	32,350	11,770	0	1,506	0	19,074
	度 会 町	32,914	41,566	0	0	0	▲ 8,652
	大 紀 町	56,716	42,444	9,347	4,925	0	0
伊 賀	伊 賀 市	72,168	68,641	4,186	0	40	▲ 699
	名 張 市	21,936	24,192	0	2,307	0	▲ 4,563
尾 鷲	尾 鷲 市	36,580	20,088	0	0	99	16,393
	紀 北 町	60,626	21,316	20,834	204	0	18,272
熊 野	熊 野 市	112,643	72,242	4,465	0	0	35,936
	御 浜 町	13,408	9,971	0	1,312	0	2,125
	紀 宝 町	21,772	16,545	4,676	0	0	551
計		1,046,119	722,486	106,316	20,513	139	196,665
	比率（％）	100%	69%	10%	2%	0%	19%
三 重 県		143,036	40,623	4,364	127,200	0	▲ 29,151

※令和5年度は、県内市町全体では譲与された税額以上の事業費が予算化されています。引き続きみえ森林経営管理支援センターの活動を通じて、森林環境譲与税を活用する市町の取組を支援していきます。

受賞者の紹介

(敬称は省略して掲載させていただいています。)

●治山林道工事コンクール

治山・林道工事の施工技術の向上等を図るため、三重県森林協会では、毎年、日本治山治水協会が実施するコンクールに合わせ治山林道工事コンクールを実施しています。令和5年度は、治山工事コンクールにおいて株式会社西組（大台町）が林野庁長官賞、株式会社上村組が三重県森林協会長賞、林道工事コンクールにおいて有限会社森組が日本治山治水協会長賞を受賞しました。

◇治山工事コンクール

林野庁長官賞

株式会社西組 代表取締役 西 大輔
工 事 名：令和3年度復旧治山事業第7号工事（余谷）
施工場所：多気郡大台町栗谷字余谷地内



森林協会長賞

株式会社上村組 代表取締役 上村尚登
工 事 名：令和2年度災害関連緊急治山事業（磯田）
施工場所：度会郡南伊勢町方座浦字磯田地内



◇林道工事コンクール

日本治山治水協会長賞

有限会社森組 代表取締役 森 富男
工 事 名：令和3年度県営林道事業三和片川線
布引側開設工事
施工場所：熊野市紀和町小栗栖地内



●令和5年度功績者表彰

三重県林業・木材産業等の振興及び技術の改善・向上に功績顕著な方々を三重県森林協会が毎年表彰しています。令和5年度の総会では以下の方が表彰されました。

三重県森林協会長賞

- ①河原英理子 三重県伊勢農林水産事務所
- 橋本 智弥 株式会社丸八土建

第62回治山研究発表会において発表した「東又谷の緑化促進について」の内容が優秀でした。

- ②松岡 優介 三重県伊賀農林事務所

第56回近畿・中国・四国地区治山林道研究発表会において発表した「治山施設機能強化の事例について」の内容が優秀でした。

当面の森林協会活動予定

●4月16日(火) 森林セミナーの開催

開催時間／13:00～15:30 開催場所／三重県総合文化センター セミナー室A
内 容／「令和6年度三重県森林・林業関係予算及び新規・重要事業」について、三重県森林・林業分野幹部職員の皆さんから説明を受け、質疑応答を行います。

●4月23日(火) 森林協会正副会長会議の開催

開催時間／14:00～14:30 開催場所／林業会館

●5月24日(金) 森林協会 令和5年度第2回理事会の開催

開催時間／15:00～16:00 開催場所／三重県総合文化センター 特別会議室

●7月3日(水) 森林協会 令和6年度第1回理事会の開催

開催時間／15:00～16:00 開催場所／プラザ洞津

●7月24日(水) 森林協会 令和6年度定時総会の開催

開催時間／10:00～11:30 開催場所／プラザ洞津

●8月23日(金) みえの森林づくり講演会2024の開催

開催時間／15:00～16:20 開催場所／三重県総合文化センター 視聴覚室

お知らせ

●令和6年度みえ森林経営管理支援センター体制のご案内

三重県森林協会では、令和元年度より三重県から「みえ森林経営管理支援センター」設置業務を受託し、市町の森林環境譲与税を活用する取組や森林経営管理法に基づく森林整備等に対する支援を行っています。

令和6年度は右表のとおりアドバイザーを林業会館と県地域機関に配置してアドバイス・支援活動を行いますので、お気軽にご相談ください。

区 分	氏 名	担当管内
センター長	朝倉 嗣雄	全県・伊賀
アドバイザー	谷口 雄一	四日市
	深田 透	津
	森本 正博	松阪
	前野 昌弘	伊勢
	谷 昌樹	尾鷲・熊野



「三重の木 ふるさと三重かるた」を販売しています

このかるたを使えば、木に触れつつ三重県の29市町の自然、歴史、文化財、史跡、人物、特産品について、子どもから大人、年配者まで遊びながら学べます。是非、ご購入のうえ公共施設等においてご活用のご希望いたします。お問い合わせ、ご注文は三重県森林協会までお願いします。

(一社) 三重県森林協会 TEL.059-228-0924

会報 かけはし第56号

令和6年4月発行

一般社団法人三重県森林協会

編集責任者 前田 芳宏
印刷所 伊藤印刷株式会社

〒514-0003 三重県津市桜橋1丁目104番地
TEL 059-228-0924 FAX 059-228-3220

電子メール mifa@zvtv.ne.jp
ホームページ <http://www.za.zvtv.ne.jp/wdsnd73h/index.html>